施策マネジメントシート(2019年度の振り返り、総括)

2020 年 6 В 16

基本 目標	П	豊かな自然と共生するまち	主管課	名称 課長	総合戦略課 林 市治		
施策	13	人と自然の共生の推進	関係課	農林課 光係	林業振興係/生活水道課 環境政	策係/観光商工課	自然観

	対象	意図			基本事業名	対象	意図
施		①自然環境に対する意識を高		1	もる力)	の自然環境	①保全活動を積極的に行う。 ②まもられる。
策 の	①町氏 ②町外の人	め、人と自然が共生する取り 組みを積極的に行う。 ②町の自然資源の価値を認	基本事	2	かす力)	の自然環境	①自然資源を活用する。②いかされる。
的	③みなかみユネスコエコパー クの自然環境	識して、関わりを増やす。 ③保全され、後世に引き継が	業	3	豊かな自然の啓発 (ひろめる力)		①自然の豊かさや大切さを認識する。 ②ひろめられる。
		れる。		4			

町内の豊かな自然と暮らしが共生してきたことの理解を深めるとともに保全活動を積極的に推進します。

- ・町内の暮らしのまわりにある自然環境の調査研究を推進するとともに環境教育を推進します
- ・身近な自然である星山環境を整備するともに、そこから得られる木材や自然エネルギーなどの地域資源を有効に活用します。 ・河川空間を利用して隣接区域とともに良好なまちと水辺が融合した空間形成に取り組みます。

ユネスコエコパークの理念に基づく取り組みを通じて、SDGs達成への貢献を目指します。

		成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	Λ	人と自然が共生する取り組みを行っている	%	実績値	実績なし	15.9	16.4	14.8			
	Λ	町民の割合	/0	目標値		50.0	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0
施 策	В	町内の自然環境が守られていると感じる町	%	実績値	64.2	67.8	63.1	67.4			
策 の	Ъ	民の割合	, .	目標値		65.0	66.0	67.0	68.0	69.0	70.0
成	C	みなかみユネスコエコパークの認知度・理解	%	実績値	実績なし	88.7	88.3	88.4			
果指標		度	/0	目標値		70.0	75.0	80.0	85.0	85.0	90.0
標	D			実績値							
	ט			目標値							
	Е			実績値							
	ь			目標値							

実績値の把握方指標設定の考え

方法と

目標値設定の考え方

A)直接的な設問であり、数値が高まれば「自然環境に対する意識」目標が達成されていると言えるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 まもる・いかす・ひろめる取り組みの3項目の平均を実績値とする。

※あなたは日頃、町内において自然と共生する取り組みを行っていますか。→「全て行っていない」と回答しなかった人の割合(まもる取り組み、いかす取り組 み ひろめる取り組みの平均値)

B)直接的な設問であり、数値が高まれば「自然環境に対する意識」「保全され、引き継がれる」目標が達成されていると言えるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握

※町内の自然環境が守られていると感じますか。→「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合

C)直接的な設問であり、数値が高まれば「自然環境に対する意識」目標が達成されていると言えるため成果指標とした。

町民アンケート(翌年度実施分)により把握

※あなたは、町が「ユネスコエコパーク」へ登録されたことを知ってますか。また、「ユネスコエコパーク」の趣旨についても知ってますか。→「知らない」と回答し なかった人の割合

A)人と自然が共生する取り組みを行っている町民の割合は、みなかみ・水・「環境力宣言」にある、まもる力、いかす力、 ひろめる力に沿い町民がどの様な関 わりを有しているかを数値化するもので、現状では設問から2人に1人が何らかの関わりを持っているものと考えられるので、2022年度は地道に施策を展開し

毎年2%ずつ増やし60%を目標とする。 B)町内の自然環境が守られていると感じる町民の割合は、従来からのアンケートから65%をスタートに2022年度は毎年1%ずつ増やし70%を目標とする。なお、当該アンケートは漠然としているの各種施策を展開しても数値には反映しないものと考える。 C)みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度は2017年の登録を契機に2017年度調査の42%を大きく上回り町民4人に3人弱が知っていると考え70%を

スタートに積極的に周知に努め2022年度は90%を目標とする。

のための役割分担策の目的・目標達

1. 町民(事業所、地域、団体)の役割

・子どもから高齢者まで、町の自然に理解を深めること、自然を守ること、自然にふれあうことに取り組む。

家庭や事業所において、省エネルギーや環境にやさしい活動に取り組む。

2. 行政(町、県、国)の役割

・みなかみユネスコエコパークの登録を町内外に周知しその理念に基づい たまちづくりを行う。

- 自然環境の保全、調査研究を行う。
- 群馬県自然環境保全条例の適正運用とみなかみユネスコエコパークの周 知及び自然環境の調査・研究を行う。
- 自然公園法等の適正運用とみなかみユネスコエコパークの周知及び自然 環境の調査・研究を行う
- ・谷川岳エコツーリズム推進全体構想に基づいた取り組みを推進する。

1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか? ・2017年6月14日みなかみユネスコエコパークが登録される。

- ・森林環境税の創設が2018年度税制改正の大綱に盛り込まれる。(2017年12月 22日)
- ·SDGs未来都市選定(2019年7月1日)

2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?

- ・森林資源を積極的に活用し産業を振興するべきである
- ・みなかみユネスコエコパーク登録を契機にその理念に基づいたまちづくり を行うべき
- ・自然環境を守りつつ、それをうまく利活用するべきである。
- ・自然環境の保全とみなかみユネスコエコパークの関わりなどについて出前 講座などを開催して町民の意識の向上のため啓発活動が必要である
- ・自然環境保全地区や貴重な動植物生息地域、景観が優れている地域な どを町民が関わり指定する制度などが必要である。

取り

施策	12	人と自然の共生の推進	→ 会課 名称 総合戦略課	
旭米	13	八と日然の発生の推進	工具体	

				省鲁·要因
			かなり向上した。	①人と自然が共生する取り組みを行っている町民の割合は、平成29年度15.9%、平成30年度16.4%と微増 したが、令和元年度は14.8%となり減少した。
	① 時		どちらかといえば向上した。	②町内の自然環境が守られていると感じている町民の割合は、平成29年度67.8%、平成30年度63.1%と減少したが、令和元年度は67.4%となり数値が戻ってきた。 ③みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度は、平成29年度88.7%、平成30年度88.3%、令和元年度
	系列比	v	ほとんど変わらない。(横ばい状態)	88.4%とほぼ横ばいであった。 いずれの数値も微増微減の範囲であることから、全体的な成果はほとんど変わっていないと考えるが、ホタルを守る会の活動、自伐型林業、生物多様性調査、エコツーリズム、環境学習発表会などの関連事業につ
施 策	較		どちらかといえば低下した。	ルでする云が石朝、日以室杯来、土物多様性嗣直、エコノーリスム、環境子首先表云などの関連事業にういては参加が増加している。
の 成			かなり低下した。	
果 水		4	かなり高い水準である。	環境力宣言、ユネスコエコパークへの登録、SDGs未来都市認定など、本町の人と自然の共生に係る取り組みは、近隣市町村と比べ盛んである。 具体的には、
準 の 分	2 他 団		どちらかといえば高い水準である。	①谷川岳一ノ倉沢交通規制の実施。県内で交通規制を実施しているのは片品村(尾瀬)のみ。電気バス2台を運行。 ②みなかみ町自然環境及び生物多様性を守り育てるため昆虫等の保護を推進する条例制定(平成23年4月1日) ③エコツーリズム推進全体構想が平成24年6月29日に国から認定された。(全国3番目、国立公園としては当時初めて
	体と		ほぼ同水準である。	の認定) ④赤谷プロジェクト活動支援事業(生物多様性の復元と持続的な地域づくりを進める取り組みは全国で2カ所のみ)
	の比		どちらかといえば低い水準である。	⑤みなかみユネスコエコパークの登録(平成29年6月14日)。国内の登録地は現在10ヶ所のみであり、ユネスコの国際的なプログラムであり高い水準の取り組みであると言える。 ⑥森を育む広葉樹産業化プロジェクトに関する協定書締結(平成30年12月10日)
· 要 因	較		かなり低い水準である。	⑦日本ユネスコエコバークネットワーク(JBRN)とイオン環境財団との連携協定に基づいたBR啓発活動を実施している。(みなかみBRフェア、イオンチアーズクラフ・等) ⑧SDGs未来都市選定(令和元年7月1日)
の 考 察	3		目標値を大きく上回った。	①人と自然が共生する取り組みを行っている町民の割合は、目標値54%に対し14.8%となり目標値を大きく下回った。 当初の目標値設定が高いため、実績値とは乖離しているが、取り組みを行っている割合が低いわけでは
	目標		目標値を多少上回った。	ない。
	の達		ほぼ目標値どおりの成果であった。	②町内の自然環境が守られていると感じている町民の割合は、目標値67%に対し67.4%となり目標を達成した。 ③みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度は、目標値80%に対し88.4%となり目標を達成した。
	成状況	V	目標値を多少下回った。	
			目標値を大きく下回った。	

		基本事業名		成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			Δ	里山などの整備や野生動物・植物	%	実績値	実績なし	9	12.3	10.6			
	1	保全活動の推進(まもる力)	Λ	の保全活動をしている町民の割合	/0	目標値		25.0	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0
	1	体主治動の推進(よりの力)	В	森林整備面積	ha	実績値	90.92	107.92	118.23	176.51			
Ħ			Б	林小歪岬凹熕	11a	目標値		106.00	110.00	110.00	120.00	120.00	130.00
基 本 事 業			Δ	エコツアーへの参加者数	人	実績値	2,092	3,377	2,840	5,790			
事	9	自然資源の活用(いかす力)	Λ	ニコラケー・シン参加有数	八	目標値		3,500	3,960	4,420	4,880	4,950	5,000
業	4	日然貝跡の石州(いが・5 25)	В	自然を活用した活動をしている町	%	実績値	実績なし	24	24.9	22.0			
O)			Б	民の割合	/0	目標値		25.0	27.0	29.0	31.0	33.0	35.0
成			Α	みなかみユネスコエコパークの	件	実績値	実績なし	59,280	38,077	31,604			
果指標	3	豊かな自然の啓発(ひろめる力)	11	ホームページへのアクセス数	Н	目標値		30,000	31,000	32,000	33,000	34,000	35,000
担煙	J	豆がな日旅の日光(0つののカ)	В	自然とのふれあいを楽しんだり伝	%	実績値	実績なし	14	11.9	11.9			
175	標		Ъ	えている町民の割合	/0	目標値		50.0	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0
			Α			実績値							
	1		71			目標値							
	1		В		実績値								
			Б			目標値							

		基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
	1	保全活動の推進(まもる力)	ひろめるにも関連)	①自然環境の現状調査及び課題の整理(保全計画)。みなかみBR推進プランの策定と実行。 ②森林施業に係る町内体制整備、民有林の現況把握及び森林所有者の意識把握に向けた準備。 ③間伐等の森林整備、森林病虫害の対策、治山事業等の推進。
今後の課題と	2	自然資源の活用(いかす力)	①木材や自然エネルギーなど地域資源を有効に活用する。 ②自然資源の持続可能な利活用を目指した産業の活性化。 ③観光、農林業、商工業等の経済活動における、みなかみ町BRブランドとして付加価値をつける。	①木材や自然エネルギーの地産地消を推進する。木材が循環するための調査及び仕組みを検討する。 ②地域の自然環境の保護・保全を図りつつ、それら自然資源を持続可能な形で利活用することで、地域の社会及び経済の発展を図ることを目指す。自伐型林業の推進、広葉樹などのBRの資源を活かした産業モデルの構築。 ③BRプランドの確立のため、認証制度の調査研究をする。
取り組み(案)	3		④各事業者及び学校関係者がBRの趣旨を説明できるようにする。 ⑤子ども達等に対するBR、SDGsの浸透	①環境教育、自然環境保全、木育、自伐型林業などに携わる人材の育成。 ②赤谷プロジェクト・エコツーリズム協議会・ホタルを守る会などの関係者と協議し環境学習のテーマやプログラムの調整を図る。 ③みなかみの自然とらし概要版を活用して自然の重要性を啓発。 ④各事業者及び学校関係者が研修会や勉強会を行う。 ⑤町内外の子ども達等への環境教育、SDGsの普及啓発、木育の推進及び強化。 ⑥谷川岳インフォメーションセンターの活用
	4			

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 18 日更新)

車系	事業	¥ (0000	12	Ė	лт -	1任	動推	准す	*			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	522.2	200 円	
7117	777		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<i>J</i> Z	7 J P	·1——	-/0:	3/17年。) 上 寸				平成22年改正省エネルギー法の施行により、エネルギーの 原油換算使用量が1.500kl以上の事業者を特定事業者に指		平木 县	323,2	.00 11	
+/-	,	施策		13	۲,	一白匆	^է の	共生	の‡	推進			定し、削減のための中長期計画の策定・定期報告書の提出 が義務づけられている。地球温暖化対策法では、温暖化対 策の実行計画の策定を義務づけ、温室効果ガスの削減に努 めることとされています。	第3次実行計画に沿って、毎年 0.5%のCO2排出量を削減に向け	=	事業実績		
施策					,,,		.,.,		** 1				のることとされています。 町は、平成22年10月に省エネルギー法による特定事業者に 指定され、平成21年12月には地球温暖化対策法に基づく 「みなかみ町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を策	取り組んだ。				
体系	基法	本事	業	01	保全	呆全活動の推進(まもる力)					ከ)		では、事業にあっっている。 とし、事業にあっっている。		CO2換算温室効果ガス排			
		1.3		•	1717	保全活動の推進(まもる力)					-/		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	出量			
根拠	有	組	織	牛	舌水	道	課		環境	新政策		係						
		.,	1,00			水道 課 環境政策 係						,,,		今年度の達成状況を確認しながら、計画に沿って毎年0.5%の削	平成30年度	令和元年度	単位	
事業期間		継続	事業		会 1 款 2 項 1 目 11					1	目	11		減に取り組む。	7,680	7,307	t- CO2	
7971日]	H 2	21 ~	左	F間	П												002	

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

事 發	事業	: 000	0006	谷川岳-	- ノ倉	沢道品	烙滴 T	利用	推准	主事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	- 事業費	5.753.4	128 円	
31 17	777			ш	- /4	W(XE)	- H ALL AL	- 1 3713	, ji	-7-7	谷川岳一ノ倉道路の渋滞が予想さ		于 木县	0,700,4	120 17	
+/-	h	施策	13	人と自	然の)共生	· の推	推			れる行楽シーズンについて交通規 制を実施し、自然環境保全を中心	関係機関と連携して、電気バスの運行期間中、事故なく運行を	事業実績			
施策			L		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						に、歩行者の安全確保や通行車輌 の事故防止を目的とします。	行う。				
体系	基本	本事業	01	保全活動の推進(まもる力)					ታ)				道路利用	者数		
		, ,,,		保全活動の推進(まもる力)							②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
根拠	無	組織	 	パーク推済	隹 課		森材	大環境		係						
	7111	1210		ペーク推進 課 森林環境 係					- 電気バスの持続的な運行	引き続き、関係機関と連携して、電気バスの運行期間中、事故な	平成30年原	度 令和元年度	単位			
事業		継続事	業	会 1 款 2 項 1 目 11			日	11		く運行を行う。	42.272	36.977	人			
期間	Н	~	年間				I	• •			,_ / _	33,077				

令和 元 年 8 月 23 日作成 (令和 2 年 6 月 16 日更新)

車	務事	坐 00	8000	生生	物多柱	- 14	:	*汪言	動推消	生主	坐	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,187,8	871 ⊞	
7	133 -	~ 00	0000		120 20 11	* 11	. M _	-711 =	100 1 正人	= 7	^	①「昆虫等保護条例」に基づく地域	周知啓発を進めているが、新た に取り組みたい団体等も無く件	于不良	0,107,0	,,,,,,	
		施策	13		レ白例	÷ M	##	ωŧ	##			7分。	数は増えていない。現状を維持することが大事になってきてい	早	事業実績		
施策		旭来	13	Λ.	人と自然の共生の推進							②生物多様性地域戦略の策定の検 討を行う	る。また、環境省の生物多様性保全推進交付金を活用して自然				
体系		本事業	01	/星/	保全活動の推進(まもる力)					H)			環境保全調査に取り組んだ。	活動推進事業補助金交付数			
	垄	个 事末	01	保全活動の推進(まもる力)				. TO 2	'J /		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
根拍	処 無	. 組織		0 L14/4 20 0 L14/4 VF				— 万堆	:准	Æ	①「昆虫等保護条例」の啓発と指定						
111	**************************************	大 小丘中野	1/				: Æ	坏	地域及び管理者の普及 ②ユネスコエコパークの推進計画と	みなかみユネスコエコパークの理会ないままままます。	平成30年度	令和元年度	単位				
事	業	継続事	業				В	11	整合する生物多様性地域戦略の検		5	5	箇所				
期	業 間 H	~	年間				П	11 討			3	鱼刀					

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 18 日更新)

事務	車坐	- nc	00009	瑨	남송상	広車	重推進	====	*			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	- 事業費	1.870.1	02 III
7 17	尹木	00	0003	坏	· 兄》	ルンコ	二任地	⊆ † 7	*			・電気自動車購入 公用車でのガソリン使用を軽減します。 環境に配慮した取り組みを町内外へアピールします。		尹 木貝	1,870,1	92 11
	te	拖策	13	1	レ白	₩₼	++ 生	Ω₩	# <i>:</i> #			・電気自動車等普通充電設備設置費補助金(H26より別事業に振分)町内の宿泊事業者へ普通充電器設置を促すことで、電気自動車	急速充電器保守管理委託料の	Test to	事業実績	
施策	JJ	EX.	13	^	と自然の共生の推進							CO2を削減できます。	見直しに取り組んだ。			
体系	其才	本事業	£ 01	但	呆全活動の推進(まもる力)				±. ス・	h)		・電気バス導入実証実験 開発中の電気バスをたくみの里を中心としたエリアに走らせて、ア ンケート調査をおこない導入に関する実証実験をおこなう。			器利用台数	(累
	坐	トチネ	01	I	呆全活動の推進(まもる力)				U 0	,,		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	計)		
根拠	無	組織	. 生	汗力	k消	= =		┲	金砂金		伛	各宿泊事業者への説明手段がな く、広く理解されていない。周辺郡部	道の駅等に設置している充電設			
1K De	7111	小江小台	х	/ 1 / .					I/K	での充電設備が設置件数が増えてきており、早くから取り組んでいる当	備について設置から8年が経過	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間		継続事 ~	事業 年間				目	11	町の知名度が増してきている。その		6,234	7,986	台			

令和 元 年 8 月 23 日作成 (令和 2 年 6 月 16 日更新)

主教	事業	000	010	赤谷プ	ne:	- /1	汗動:	4.1	車業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	200.0	000 円
717	于木	000	010	かロフ		± 71	70 30,	人」及	尹禾			赤谷プロジェクト関連会議、活動		200,0	700 17
	施金	窑	13	人と自	鉄σ) # #	の推済	É		4	ラロシェクトの合性会議や1ペント 等への参画や、地域協議会との協	にもれなく参加し意見交換および 情報共有に努めた。また、町役		事業実績	
施策	,,,,,	~		ХСП	,,,,,,,		νν 1Ε.Χ	_			カ連携による支援と地域への普及 啓発を行う。	場幹部と意見交換会をはじめて実施した。			
体系	基本導	事業	01	保全活	保全活動の推進(まもる力)							×11110728	赤谷プロジェクト会議等(企) 画運営会議、企画調整会		
	2.1	7-7-	•	PK-17	呆全活動の推進(まもる力)						②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	議、ほか)への参加回数		
根拠	無し	組織	エコノ	パーク推進	生 課	I:	コパー	ク推済	隹	係					
	/				推進 課 エコパーク推進 係							プロジェクトの協定の更新年であり、3者とみなかみ町の位置づけ	平成30年度	令和元年度	単位
事業		続事	業	会 1 款 2 項 1 目 11					1 1	有し相互の取組にいかす。		(枠組み)や活動エリアの検討を 行う。	10	11	
期間	н	~	年間	計											

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

車級	事業	000	011	ホタル货	2 ##	車業					① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	610.1	72 円
717	尹木	000	011	ハンルロ	下 可支	尹木					生活環境のパロメーター「ホタル」をはじめとする水棲生物等の生息地の整備など、自然との共生や環境保全を推進し、自然に親しむ機会の拡充に努めます。ホタルを		学 未良	010,1	72 13
施	施	策	13	人と自然	きの	共生	の推	進			て地域の活性化につなげます。	昆虫等保護条例に指定地区の 関係団体と情報共有することに	1	事業実績	
策体											ホタル関係施設の管理、ホタル観賞会、環境教育(ホタル教室)の実施、ホタル生息地・発生数等の調査を実施しています。	努めた。			
系	基本	事業	01 保全活動の推進(まもる力)				もるナ	J)					室•保護育成	活動	
		• • • •		1 保全活動の推進(まもる力)							②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	参加延人		
根拠	無	組織	エコノ	ペーク性准 神 エフパーク性准 塚				- ク推	准	係	ホタルの情報(生態も含め)を発信				
TK JÆ	ZIK	71179		パーク推進 課 エコパーク推進 イ			~_	DI.	がマナーを守り共存していくことが	活動に参加する皆さんの高齢化が進んできているが、地道な活	平成30年原	度 令和元年度	単位		
事業期間	- 11	*続事 * ~	三 三 三 三 三 三 三 三 三 三					1	目	5		動を継続していく。	1,832	1,714	人

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

車務	事業	00	0012	磁百!	⊞ılı	保全事	巨学				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	65.9	880 円
717	于木		0012	лж их :	±щ	水 王 =	F **						平 木具	00,0	100 11
14	核	Ē策	13	المال	白妖/	の共生	ית±	#.准			①上ノ原の茅場再生事業、藤原地 区の古道復活事業、森林塾青水主	森林塾青水と連携を取り合い円滑な事業実施に向け取り組み	뒠	事業実績	
施策	,,u	5×	13	۸۲۶	XCD/MOV/LOVIEZ						区の古道復活事業、森林塾青水主催のイベント等への協力。②森林塾 青水との連絡調整。	だ。			
体系		事業	01	保全活動の推進(まもる力)				:±.ス·	+ 1)				害水イベ、	小参加者数	,
	坐作	*7*	01	保全活動の推進(まもる力)					/1/		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	H W.I.		`
根拠	無	4日 4部	T 7,	。 。 。 。 。 。 。 。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、					÷	伛					
TIXTIZE	711	小江中央		パーク推進 課 森林環境 係				1128-20		IЖ	イベントの参加者が減っているため、宿泊に結びつかない。また、野	森林塾青水やイベント参加者の世代交代などについて、検討す	平成30年度	令和元年度	単位
事業		迷続事	業	会 1 款 7 項 2 目 2					В	2	焼きの実施、中止の判断に関して 認識のずれがある。	る必要がある	43	50	,
期間	н	~	年間	会計 1 款 7 項 2 目 2				2		2			+3	30	

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 18 日更新)

車彩	事業	<u></u> 000	0014	雷气	白動育	事等	充電影	3.借設	置費:	補助	虫坐	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	- 事業費		0 円
7-17	777	000	7014	地入	. [] 30] -	+7	70 HZ ID	X I/HI DX	匹贝	1 m 293	+*	電気自動車等普通充電設備設置費補助金		平 木貝		0 17
	t	施策	13	נג	- 白 剱	ŧゕ	土 生	の堆	准			一 町内の宿泊事業者へ普通充電器設置を 促すことで、電気自動車の購入促進を積	申請者なし。	=	事業実績	
施策	,,	iex	13	Λ.	人と自然の共生の推進 							極的に進めている埼玉県や東京都などの電気自動車ユーザーにアピールし、町内	中間 は ひ。			
体系	其 7	本事業	01	42~	保全活動の推進(まもる力)					н)		に訪れる観光客から排出されるCO2を削減できます。		補助件数		
	巫术	平于木	01	床=	保全活動の推進(まもる力)				7	' J'/		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	冊切丁奴		
根拠	有	組織		汗水	诺	靊		理培;	ひ笙		伛					
113.72	Ħ	小丘响跃	Ι.	活水道 課 環境政策 係				以米		IЖ	民間の急速充電器設置も出来てきたことから事業の廃止も含め検討し	事業を廃止する	平成30年度	令和元年度	単位	
事業	:	継続事	業	会	会 1 款 2 項 1 目 11					В	11	たことが、今年本の廃止も古の検討していく。	予木と沈止する。	0	0	件
期間	Н	~	年間	計	会計 款 2 項 1 目 11				'		''					i.T

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

事務	事業	± 00	00020	3.	ニダム	. 管I	理事等	<u>*</u>				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	71 7	700 円
7-32	, -J- >/													7 7 7	7.,,	
	- t	拖策	13		レ白を	* ^	##	σ₩	£2#			 国有林内に設備した梨郷施設に対		=	事業実績	
施策体	, J	E.K	13		人と自然の共生の推進							する借地料の支払いを行う。				
体系	# 7	本事業	€ 01	保全活動の推進(まもる力)					+ z -	+1				支払件数		
		トサオ	€ UI	保全活動の推進(まもる力)					ნ გ,	<i>)</i>])		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	又払什数		
根拠	無	幺日幺	#,	°-/	5###	=⊞		赤出	ŀı≅ t ė		ız					
似双	**	小丘 小	以「エコ/	. —.,	ペーク推進 課 森林環境 係				小呆切	ļ	1#	課題なし	従来通り	平成30年度	令和元年度	単位
事業		継続	事業	会 1 款 6 項 2 目 2					0	В	0	旅退なし	作不理ツ	1	1	件
期間	н	~	年間					2	Н	2				'	1+	

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

市弘	事業	000	004	県単治し	Li at :	₩.				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	- 事業費	3.820.0	000 П
= 13	争未	000	024	宗里石	山争:	未						争未复	3,820,0	JUU 17
施	施	策	13	人と自然	紫の ま	共生の	推進			・地元の要望箇所を県と現地調査を 実施し、県への実施要望へ繋げる。 ・事業実施に向け、県と地権者との	群馬県や地元住民と連絡調金を 行い、迅速に事業実施が出来る	1	事業実績	
策体				ルヘイギ ヘササ/ナ 4フェン						調整を行う。	ようにする。			
系	基本	事業	01	01 保全活動の推進(まもる力)				力)				整備要望手筒所数	箇所数•整備	着
				保全活動の推進(まもる力) 						②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	于 固 別 数		
根拠	 有	組織	エコバ	パーク推進 課 森林環境 イ			竟	係						
1248/2										地権者へ連絡を取る際、不明者が	今後も上記の通り事務を取り組	平成30年度	令和元年度	単位
事業期間		送続事 ~				2	多くなってきている。 - -	ਹੈ 	要望9•実 施2	要望11・ 実施8	箇所			

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

車務	事業	•	0000	128	# \\ \	小山	EV F	除・防	[]	車業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,299,3	278 ⊞
7-17	チネ	,	0000	720	14 \	(0,-11	· 呵匹	WN 14.) v)\ =	尹木			・森林病害虫駆除事業(県単奨励) 伐倒および燻蒸による松食い虫の		平木 县	2,233,0	770 11
16	t	拖策		13	נג	レ白を	አ ጠ	共生	МĦ	#.准			駆除。5月末までに実施する。	地域から要望のあった箇所を実 施。事業開始前までに要望の	=	事業実績	
施策体	,,	EX.		10	Λ.	XCU.WOX.TOXIE							道路側や公共施設付近の松食い虫被害末を伐倒し、周辺への拡大を				
体系	基本	★車	*	01	保全活動の推進(まもる力)				±.ス	+ 1)		防ぐ。		- 伐倒在積			
	坐人	**	*	01	保全活動の推進(まもる力)					. 0%	/1/		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	人的正領		
根拠	無	*	日総	T 7 /3	\$					大電信	÷	伛					
יאנאר	7115	71	工中岛C		ペーク推進 課 森林環境 係				11242	•	IЖ		大規模な被害箇所については、 県民税事業の樹種転換なども視	平成30年度	令和元年度	単位	
事業		継続	表事美	滞	会 1 款 6 項 2 目 2					2	В	2		野に検討していく	28.61	123	m³
期間	н	~		年間					2		2			20.01	123	'''	

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

主務	事業	<u></u>	0029	+=	枯扣	1 44	策事	坐				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	- 事業費	4.565.8	95 H
-J- 17.) +	00.	0020	, ,	71111	0,7-3	水子	*						于不良	4,000,0	700 17
14-	l ,	施策	13	נג	-白奶	ŧ٨	共生	の増	+:准			カシノナガキクイムシによるナラ枯	被害対策について群馬県と連携をとりながら拡大防止に取り組ん	Į	事業実績	
施策	,,											れの防除・被害木の伐倒等 	でいる。			
体系	其-	本事業	事業 01 保全活動の推進(まもる力)					· (+ :	±.ス-	h)				民有林の	代倒 太	
	坐人	个子本	01	01 保全活動の推進(まもる力)					0.07	' J'		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策		人国人	
根拠	無	組織	 T = /	パーク	歩 淮	靊		杏林	评倍		伛					
110,120	***	小丘中欧		《一ク推進 課 森林環境 係					ንሥ <i>ት</i> ንር		IЖ	奈女沢・小仁田へと被害が町北部	 粘着シートの他、おとり丸太の設	平成30年原	专 令和元年度	単位
事業		継続事	続事業 会 1 款 6 項 2 目						0	В	2	から南下してきている。	置により対策を実施する。	0	0	本
期間	Н	~	五 1 款 6 項 2 目					- -	۷		2					4

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

事務	事業	000	031	利根	川源	流药	森林整	備隊	活動	支援	事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	100.0	000 円
7117) 	000		1312	C7-11115	<i>3</i> 1644	r III AE	NO 1-50	·/µ 203	~,,,,	7.7.	- 主な事業主体である利根沼田森 - ***********************************		于不良	100,0	700 17
施	ħ	拖策	13	人と	:自然	たの	共生	の推	進進			林組合と協力してボランティアや林 業従事者からなる利根川源流森林	〇内部では調整しており、今後、 総会により正式に体制を整えた い。	=	事業実績	
策体系	其 7	大事業	01	(日本	保全活動の推進(まもる力)				±. ス・	4 1)		い林業の発展につなげる。		活動回数		
	本名	や事本	01	保全活動の推進(まもる力)					. დი	/1/		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	加到四数		
根拠	無	組織	エコン	 パーク推進 課 森林環境 係					林環境	į	係	〇現在、理事長等役職が不在であ	現在、営利活動がないため、 NPOとしての体制も見直していき	平成30年度	令和元年度	単位
事業期間	н	継続事	業 年間	会計	会 1 款 6 項 2 目 2				2	目	2		NFOとしての体制も見直している たい。	6	5	0

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事 彩	事業	000	032	甲抽•甲	山保全整備事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	30.413.9	137 円
7-17	77~	000	002	±% ±	口怀工证师予采	ぐんま緑の県民基金により、里山・ 平地林について、地元で整備する		于不良	00,410,0	707 13
	梅	策	13		の共生の推進	場合については補助金による支援	地域住民とよく話し合って事業を	早	業実績	
施策	, ne	*	10	//C	07八工071E)E	な箇所については、町が整備することにより、獣害の抑制・通学路等の	実施する。			
体系	基本	車業	01	仅 全 迁 新	の推進(まもる力)	安全確保等を図る。		整備面積		
	本本	学 未	01	床主/13/	の推進(よりのガ)	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	正		
根拠	無	組織	T 7/	ペーク推准 i	里 森林珊塘 6	・不在地権者等、地権者と協定を結				
113.130	- AK	小江中民	,	ペーク推進 課 森林環境 係	へるかかスムースな事業有工の鍵 である。	侵入竹林について、各地区で問 題になっている。当事業以外にも	平成30年度	令和元年度	単位	
事業		総続事	業	会 1 #		・2年目以降の地域住民による管理 について、高齢化により管理が困難		23	25	ha
期間	Н	~	未 会 1 款 6 項 2 目 2 年間 2 1 2 1 2 2 2			になりつつある。 		25	25	IIa

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

車系	8事業	<u></u> ≜ 00	0034	林	業専	田道	整備	主主	丵			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	5.800.0	000 H
7-1.	0 7- 7	00	0004	4715	本寸 /	1175	ᅺᇎᆙ	H >	~					于不良	0,000,0	700 11
14-	١,	拖策	13		と自然	* M	++ 生	ω₩	##				新たに後閑林道2号線開設のため、県と現地調査の上、権利者	1	事業実績	
施策		IE A	13									るのに負担金を支払う	へ説明を行った。			
体系	並-	本事業	業 01 保全活動の推進(まもる力)						± Z -	+)				工事延長		
	巫	华 于 未	01	保全活動の推進(まもる力)					. O O .	<i>(</i> 1)		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	工事姓氏		
根拠	無	組織	 ,	2 LWW == *H***					★理培		压					
11372	***	小口仰以		パーク推進課 森林環境 係					ጥሥራታር	•		立ち会い等について、地権者との連			令和元年度	単位
事業		継続事	五 1 款 6 項 2 目						2	В	3	絡調整をスムーズにする	県と連携を図り齟齬の無いように する必要がある。	100	800	m
事業期間	Н	~	1 款 6 項 2 目					块	2		3			100	300	1/1

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

車務	事業	000	037	白4	化刑力	壮 坐	集推進	車	毕			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	- 事業費	3.608.5	10 H
717	7*	000	7007		区土1	11173	C1E.JE	= -	*			〇自伐型林業研修の実施(自伐協	当該年度においても自伐型林業	平木 县	3,000,0	710 13
14-	協	策	13	L	レ白タ	ሄ ጣ	共生	ω¥	+ 准				研修を実施し、受講者の中から 新たに2団体が自伐型林業を開	1	事業実績	
施策	ne.		13	NCI MONTO ILLE					<u> </u>			的機能発揮対策交付金の利用を希	始することとなった。またフォロー アップ研修も実施し、既自伐型林			
体系		事業	01	01 保全活動の推進(まもる力)					±.ス-	h)		望する団体の対応	業団体の技能育成を図った。	数	多会等の開作	
	坐平	子木	01	保全活動の推進(まもる力)				0.07	<i>'</i> J <i>'</i>		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	┃•自伐型ホ <u>┃</u> 数)	林業家数(従	事者	
根拠	無	組織		《一力推准 钿 木 壮 珲 培				押倍		伾						
TIX IXE	ж	小红中铁		パーク推進課 森林環境 係				1148-50		I/K	「自伐林業」推進する上で、町民啓発と個人の技術力向上が課題であ	今後も、継続的に自伐型林業研 修を実施できるよう支援してい	平成30年原	专 令和元年度	単位	
事業	総	継続事	業	会 1 款 6 項 2 目 2					2	В	2	Z	く。また、関連する森林・林業施 策の推進を図る。	6.58	8•74	回•
期間	H 27	~						-	2		2			0-06	0.74	人

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

車級	事業	000	0045	杰力	₩₩	音話	10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	许!	用事業	*		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費		0 円
717	サネ	5 000	3043	本本 1	小块	兄时	タナケ	(/ <u>D</u> /	m y z	Κ.			当該年度は譲与税の長・短期的	学 木貝		0 11
	l k	布策	13		と自然	ሂ の	##	の‡	住准			森林環境譲与税を活用し、森林整	な運用方針を検討し、譲与税は基金積立することとし、次年度以	Ī	事業実績	
施策			Ľ									備等に資する事業を実施するもの。	降の事業実施に繋げることとした。			
体系	基本	大事業	01	保全活動の推進(まもる力)					きょるっ	ታ)			7-0		基金積立した	
	20.7	··		保全活動の推進(まもる力)						,		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	ない。		3.01.
根拠	有	組織	 	パーク推進課 森林環境 係					木環境		係					
		1215		N-7推進 課					1-50			当該年度から、毎年譲与されること となるため、長期的な運用計画が必	令和2年度以降の事業化に向け	平成30年度	令和元年度	単位
事業		新規事	業	会 1 款 6 項 2 目 2						目	2	要となる。	て検討中	0	0	_
期間	H 3	1 ~	年間	会計					2		_					

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

74	- .114.			± 11-m			,		m_+	Alle.	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果			
争於	事業	000	046	森林環	境譲	長与初	是全	空生	里爭	苿			事業費	7,896,0	000 H
施	施	策	13	人と自然	然の	共生	の推	進				森林環境譲与税基金を設置する。		事業実績	
策体				ルヘブキ4のササ/ナ4フエ \							うもの。				
系	基本	事業	保全活動の推進(まもる力)					もるス	ታ)		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	基金条例立を行った	を設置し、基 た。	金積
根拠	有	組織	T 7 /	°				T皿 +辛		係					
仅处	19	不且不以	/	コパーク推進 課 森林環境					将来的に、森林環境譲与税の譲与 額が増額されていくため、これに係	森林環境譲与税を基金積立することにより、効率的な運用につな	平成30年原	令和元年度	単位		
事業期間		f規事:	五 1 款 6 項 2 目 1					2	目	2	る対応を要する。	げる。	_	7,896	円
24] [E]	Н	~	年間												

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

事務	事業	000	0001	谷川岳	£т-	コッソー	-117	ざん推	准耳	業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	7.077.0	000 E
7-12) 		,,,,,	шин		-/	,,	·	, JE 7	• *	平成24年6月に国から認定を受け		于不良	7,077,0	700 11
14-	旃	策	13	人と自	3妖(ש±ת	± თ	堆准			た谷川岳エコツーリズム推進全体 構想に基づき、谷川岳の自然を守り	インタープリター登録制度が総会	1	事業実績	
施策	,,,,	·*		۸							ながら地域活性化に資する取組を 推進するもの。	にて承認された。			
体系	其木	事業	02	白鉄社	然資源の活用(いかす力)				- -		1年足 9 の 0 0 0 0 0		公川兵工	コツアー参加	1去数
	25.7	· + *	02	11 M/3	l然資源の活用(いかす力)			/3/		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策		-		
根拠	無	組織	 ,	ペーク推	— 力推准 譚			Ť	係						
יאנאוי	ZIK	датаж		.)]E	一ク推進 課 森林環境 係	DK.		 既存、新規インタープリターを制	平成30年度	令和元年度	単位				
事業		継続事	業	会 計	1 款 7 項 2 目 1			В	1	度の確立。	度に基づき、登録していく。	2.840	5.790	人	
期間	н	~	年間	計 '	会 1 款 7 項 2 目 1				'			2,040	3,730		

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 18 日更新)

車 務	事業	≜ ∩(00002	,	\zk z h	公 司	電施設	: 147	男 車 考	坐		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	696 1	81 円
717	于 不		00002	,	.////	7E F	色川巴山X	K D.X. IE	ュディ	κ		・市民協働事業で1kW程度の谷川		平 木貝	030,1	01 13
14-	 ti	拖策	13	,	と白:	然の)共生	の抽	ŧ准			ピコ水力発電所を設置した。 ・平成25年度矢瀬マイクロ水力発電		- -	事業実績	
施策				ĺ								に加え、再生可能エネルギーの普	維持を目指した。			
体系	基本	本事業	≜ 02	É	自然資源の活用(いかす力)					ታ ነ)		及や環境教育に取り組む。		年間発電·	₽	
		1.7.2		_	1,111,20	自然資源の活用(いかす力)						②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	1 14,55 45.	-	
根拠	有	組織	* 生	: 汪							係	・水力発電施設を環境教育に展開すること。 ・水力発電施設の維持管理に伴う専門知識				
יאנאר	H	411	at I	-/0	舌水道 課 環境政策 係				шж		I/K	の習得及びスキルアップ。 ・出力13kwの連続運転が可能であることを確		平成30年度	令和元年度	単位
事業		継続	事業	会	会 1 款 2 項 1 目 11					日	11	認した。 ・現在のところ冬期は水量が不足し運転できない。	加が懸念されるため、今後の運 用を検討する。	24.876	27.258	kWh
期間	н	~	年間								''	1,940.0		24,070	27,200	KTT

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 18 日更新)

車級	事業	± 000	0003	仕 字 E	田坐工力	х п. ±		- 108	郡 北南 Bh ·	全	+ a =	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2.380.0	000 III
717	尹木	000	5003	11-67	1) [-	1-70-1	п пхин	e exec.	EL 1111971	ш Д Г	1+×	平成22年4月みなかみ町住宅用省エネルギー 設備設置費補助金交付要綱を新たに施行し、		学 未良	2,360,0	700 11
14-	_t	布策	13	۷,	-白勞	^է の	共生	の推	ŧ淮			住宅用太陽光発電設備の設置に対して補助金 を交付した。平成23年度からは、太陽光発電設 備の設置が難しい北部地域でも省エネルギー	 太陽光発電補助の予算を縮小し		事業実績	
施策	,		TO XCD/MOXIDO									の取り組みも助成できるよう、対象を太陽熱温 水設備や高効率給湯設備まで拡大して設置費	事業を継続した。	1 89 44 3	. 	
体系	基2	本事業	事業 02 自然資源の活用(いかす力)					1(L)	かす	·力)		の補助を行っている。また、平成26年7月から高 効率給湯設備の機種を拡大している。		件数	電設備設置	
	20.	··	「業 02 自然資源の活用(いかす力) 					, (0	,,	,,,		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	┃•高効率; ┃請件数	給湯設備設置	申
根拠	有	組織	#:	活水道 課 環境政策 係				政策	5	係	・太陽光発電設備について、国は平					
		1210								,,,,	成26年度をもつて補助を終了、県も 平成28年度より融資制度に切り替	省エネや環境保護につながる補	平成30年	度令和元年度	単位	
事業								項	1	目		わっている。町の制度も改正等を検討する必要がある。	助事業を推進する。	9-49	8•44	件
期間	Н	~								1	• •	יטינט אצינצטי (פון פון א		3 40		''

令和 元 年 8 月 8 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

事系	事業	000	006	阿能川親] / k ⋅	公園管	理運	堂事	業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	- 事業費	92 4	199 円
7-12	77~	000		P18671A	L/J\.	A 25 6	在是					于 木县	J2,	100 17
	施	策	13	人と自然	ന±	#生の	推准			・阿能川親水公園にある公衆トイレ	_	Ī	事業実績	
施策	, ne	- X								の浄化槽管理を委託する事業。				
体系	其太	事業					いかる	ተ ታነ)				箇所数		
	25.7	· -	02	02 自然資源の活用(いかす力)				, ,,,		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
根拠	無	組織	14b 1	域整備 課 都市計画 係				āī	係					
AL JA	, MK	711190	,,,,	3/1E IM	DI.	н	112414	_	i) k	課題なし	_	平成30年度	专 令和元年度	単位
事業		迷続事:	売事業 会 計 1 款 8 項 3 目				i 3	B	1	INNE OF		1	1	箇所
期間	н	~												固刀

令和 元 年 8 月 8 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

車務	事業	. 000	0007	須川川	金目っ	へ小唐	停押	雷信	*車	丵	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	50.0	000 円
717	于木	000	3007	次川川	수 近7]	(AK	164	建产	3 77 7		遊神館前の河川敷は土木事務所が		平 木貝	30,0	700 11
14	ts	拖策	13	人と自然	迷の	土生	の堆	准			整備し管轄となっている。町へは維持管理委託をおこなっており、その	_		事業実績	
施策	,,,,	ĽЖ	13	ДСП;							維持管理として草刈り作業を地元 の入須川活性化委員会へ委託する				
策体系	其才	本事業	02	白然咨	目然資源の活用(いかす力)				ታ ነ)		事業。		· 箇所数		
	22.7	T T X	02	ожд	自然資源の活用(いかす力)				,,		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
根拠	無	組織	140	域整備	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					係					
TK JK	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	12150		- X-1E (M)	成整備 課 都市計画 係					i/K	課題なし	_	平成30年度	令和元年度	単位
事業		継続事	業	会 計 1	1 款 8 項 3 目 1					1			1	1	箇所
期間	н	~	年間	計	1 款 8 項 3 目 1				_	•			'	'	四//

令和 元 年 8 月 8 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

車務	事業	<u></u>	8000	车湖	百字目っ	k W	園管	押貨	雷学軍	巨坐		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	8.317.9	101 田
7-12	于 不	000	0000	<i>N</i>	只不兀ノ」	ΝД	· 24 6	*± K	± in =	F **				平 木貝	0,517,5	731 13
14-	l t	施策	13	طلا	·白妖	: M	业生 /	の増	+ -准			都市公園(H10年10月告示、特殊公	令和2年度から月夜野は一べす とに管理委託をするため、管理	=	事業実績	
施策	,,	IE X	13	۸۷	、と自然の共生の推進 							園)に係る維持管理事業である。	内容等について協議を行った。			
体系	其っ	本事業	02	02 自然資源の活用(いかす力)					かま	+ 1)					管理上の不。 ル発生(対処	
	巫^	个子本	02	自然資源の活用(いかす力)					73 - 9	/1/		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	数	/レ光工 (人) を	27 IT
根拠	有	組織	t#h:	ld 敕 /i	洪			拟古	計画		伾	公園の管理を委託することについて				
TK JÆ	H	小红小块	. تام	或整備 課 都市計画 係					, EI (EI			検討している。委託した場合には、	令和2年4月1日付けで管理委 託契約を締結し、適正に管理を	平成30年度	专 令和元年度	単位
事業		継続事	業							В	4	るが、直営で作業を行う際に器具が不足するようなことが想定される。。		5	4	件
期間	Н	~						74	7	1	7	されたとのなりなりにいるのである。。			4	IT

令和 元 年 8 月 23 日作成 (令和 2 年 6 月 16 日更新)

事務	事業	000	011	ユネスコ	, T ·	71%-	- ク±	+:准 =	巨坐		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	10.866.6	53 E
717	于木	000	011	ユャス-		٠, ،	711		7 *			・普及啓発イベント等の開催(木	于木具	10,000,0	33 11
14	施	笛	13	人と自然	火の	土生	の堆	准			然と人間社会の共生するまちづくり	育キャラバン、環境学習発表会、 リーフレット配布等)	Į	事業実績	
施策	<i>1</i> 18	*	10	, C	こ日派の八工の正定						を推進するため、計画の策定や、普 及啓発、等全体の運営を行う。	・計画策定等を行うユネスコエコ パークに関連する組織を設立し			
体系	基本	車業	02	自然資源の活用(いかす力)				かす	力)			た。		義、普及啓発	の実
	坐本	于木	02	自然資源の活用(いかす力)				J. 9	/1/		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	施回数		
根拠	無	組織	TTV	パーク推進	韗	т-	コノ パー	-ク推	淮	係					
TK JA	ZIIX	датаж		· 71EXE	100			7,14		I/K		普及啓発については引き続き実施する。推進プランの作成等、ユ	平成30年原	令和元年度	単位
事業	継	続事:	業	会 計 1	款	2	項	1	目	7	の作成と、普及啓発。	ネスコエコパークの推進に引き 続き取り組んでいく。	51	70	
期間	H 28	~	年間	計 '	<i></i> →	2	7,4	'	1	,			31	/0	П

令和 元 年 8 月 23 日作成 (令和 2 年 6 月 16 日更新)

		•	,,		н 1г	,,,,	` '	13 714	_	'	- //				
主弘	事業	000	012	木育	#.#1	主 娄					① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	16.633.8	56 E
717	中木	000	013	小月1	性)连=	尹木						林業部門(自伐型)と連携した地	尹木貝	10,033,0	130 11
.,.	tá	E策	13	1 トド	与伏 /	7 ##	. ⊕ ‡	#:准			木育を通じて、ユネスコエコパーク の理念である自然と人間社会の共	域資源の循環活用の推進を図るため、(株)オークヴィレッジと連	in in	事業実績	
施策	<i>"</i>	5 AC	13 人と自然の共生の推進									携し、木工製品の作成や現地研修を実施した。			
体系	其才	事業	事業 02 自然資源の活用(いかす力)						· - 1)			多と天心した。		重イベントの原 タート宣言と	
	本件	*尹木	02	02 自然資源の活用(いかす力)					<i>)</i>		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	祝い品事		涎工
根拠	無	組織	T 7/	ペーク堆						係					
11372	- 755	小江中央	,	.)]E	一ク推進 課 エコパーク推進 ほ					DK.	木育をテーマとして、子育て、教育、 林業、観光等々の連携した仕組み	当該連携協定に基づき、木のお もちゃなどをはじめとした産品の	平成30年度	令和元年度	単位
事業	1	継続事業 会 1 款 2 項 1 目							В	7	の構築と人材の育成	開発製造などにより木の利用方 法と価値を高める。	4	3	
期間							决	•		,			_		1

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 11 日更新)

車数	事業	000	014	かわまち	゠づく	い車者	≛(¬k	初年	⊞⊸°	=,,)	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	96.6	36 円
717	于木	000	1014	かれりみち	5 7 \	ソサオ	E ()N	地位	mノ)J)			尹木貝	80,0	J30 17
	按	策	13	人と自:	鉄の	++ 生	ω¥	±:/#			河川占用基準の緩和や国よるかわ まちづくり支援制度を活用し、今ま	協議会及び検討会を関係者と開催し、整備に向けて連携を図っ	1	事業実績	
施策	ne.		13	7	·						でに無い河川の利用方法を検討、 実施する。	た。		入館者数(売	
体系	基本	事業	02	白妖咨	自然資源の活用(いかす力)				+ 1)				利用者+	+食堂数+! クライミング!	数)
	坐件	子木	02	口巡贝	自然資源の活用(いかす力)				/1/		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	※整備後]る。	の指標として	こい
根拠	無	組織		2				と で 信		係					
TIXTIZE	ж	小红中铁		一ク推進 課 森林環境 係				IЖ	地域住民と地域事業者、河川管理 者(群馬県)と一体となた取り組み	整備に係る支障物の移設を行い、群馬県による護岸整備へ着	平成30年度	令和元年度	単位		
事業		継続事	業	会 1	1 款 2 項 1 目 11				В	11	有(併為泉)と一体となた取り組み が不可欠	手できるようにする。	274.029	246.908	,
期間	н	~	年間	計						''			274,029	240,908	^

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

主 發	事業	000	0015	谷川	ほんご	ノフォ	メーシ	ョンナ	ァンタ-	-[統]	事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その	結果	事業費	211 7	50 円
7-10	7 7 7		,010	L // 1	тш т-	- "				103.20					于 不良	211,7	00 17
施	柏	E策	13	۲.	나白셨	[*] の	共生	の#	作准			環境省による谷川岳インフォメーションセンター建設の誘致とそれに	環境省や関係者と意見交換を	重	事	業実績	
策												伴う関係者との調整及び建設時に 必要となる用地の確保など	ね意思統一を図った。				
体系	基本	事業	02	白名	然資源の活用(いかす力)				かす	·力)					なし		
	_ '	, ,,,			然資源の活用(いかす力)				,	/		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策		0.0		
根拠	無	組織	 ,	パ ーク					大電信	F	伭	環境省と群馬県との認識の相違や町と環境省との認識の相違が見ら	引き続き、環境省や関係者と				
TIX IXE	711	小红小纹		. ,	一夕推進 課 森林環境 係				11242	•	I/K	れる。 町関係者と群馬県は意見交換会を	見交換を行い、意思統一を図 る。		平成30年度	令和元年度	単位
事業		継続事	業	会	1 款 2 項 1 目 11					В	11	可関係者と研究は思える大人 行い意思統一を図っているが、肝心 の環境省だけが浮いている状態で	建築工事の目処が立ったので 管理運営について協議を進め		_		_
期間	н	~	年間	計	'	1 款 2 項 1 目 11					''	ある。	る。				

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 5 日更新)

車級	事業	± 000	0016	薪スト	ブ 笙	生記器	弗姑	計会を	5分:	車業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3.097.0	000 E
717	サオ	000	7010	利へい	7	† 队臣	州、吳、	119) 31: 3	נון 🗴	尹木			学 木貝	3,097,0	700 11
	k	布策	13	人と自	自然ℓ)#4	- ന‡	性准			町民等が薪ストーブ等を購入する 経費に対して補助金を交付するも	当該年度に補助金交付要綱を策		事業実績	
施策				,,,,,							<i>σ</i> .	定し、補助金交付を開始した。			
体系	基2	本事業	02	02 自然資源の活用(いかす力)										付件数•補助	力金
		1.7-7		02 自然資源の活用(いかす力)							②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	交付額		
根拠	有	組織		パーク推	パーク推進 課 森林環境 係					係					
1243/					一 7 推進 謀						課題なし	引き続き、当該補助事業の実施により、森林資源の利活用を促	平成30年	度 令和元年度	単位
事業期間	3	新規事	業	[=+] · [20] · [20] · [40] ·						0	The control of the co	進する。	0	20-3.097	件・
期間	Н	~	年間	会 1 款 0 項 0 目 0 計						,				25 0,007	千円

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

144 元 年 6 万 5 日下风 (中仙 2 年 6 万 6 日史利)														
事 務	事業	000019		特田林商	物加	勿加工施設管理運営事業				① 事務事業の内容 ③課題解決のため取り組んだ事、その結果			318.90	000 III
7117	于木			117171719					尹木			事業費	310,3	700 11
施策	施施	策	13	人と自然の共生の推進						平出の特用林産物加工施設の管理について、土地の貸借契約および	_	事業実績		
		,,,,								使用料の支払いと、商工会との管 理委託契約の締結				
体系	基本	事業	02	自然資源の活用(いかする								-加入者数		
		, ,,,								②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
根拠	有	組織	エコバ	パーク推進	課	森	森林環境	意	係				•	
						-				課題なし	_	平成30年度	令和元年度	単位
事業	糸	±続事∶	業	会 1 款 6 項 2 目 2		2			26	26	人			
期間	Н	~	年間	計					-					. •

令和 元 年 8 月 5 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

車務	事業	000001		理培养	環境教育推進事業						① 事務事業の内容	組んだ事、その結果	事業費	711,691	01 E	
7-17	* **	000	,,,,,	块况 扒 月班 匹 尹未							町内外の方に町の環境資源を活用した			平 木具	711,031	
施策	tá	策	13	ן א	3伏/)共生の推進						利根商業高校の生徒への環境		事業実績		
	,,,,	5 AC	13	ACD 56		· // 工 // 正 // 正 // -					情報を発信していく。	学習を実施した。		参加者数		
体系	其本	事業	03	豊かれ	豊かな自然の啓発(ひろめる力)						また、町内の全小中学生を対象に行う。					
	25.7	*7*		立/5	5 П 7	K				,,,,	②事務事業の課題	④今後の方針	・課題解決策	9 /m G 9X		
根拠	無	組織	 ,	パーク推	准 譚	森林環境										
似戏	ZIIX	TILL THE		· 기正座 床				****		DK.		 小中学生のほか、高校生の環境	平成30年度	令和元年度	単位	
事業期間		迷続事	業	会計	款	2	項	1	目	11	対応が必要。	学習も継続してい	<.	187	244	,
	н	~	年間	計 '	<i>₩</i>		央							107	244	^

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

車務	事業	. 000	0002	環境ポスターコンクール事業					ŧ	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費 49,0		20 円
717	尹木	. 000	3002						τ.	環境美化・地球温暖化・循環型社会に対する意識 の啓発と郷土愛を育むことを目的とし、町内各小中		学 术具	49,0	720 13
	tá	策	13	1 レ白タ	 ₩	##	カ帯海			学校を対象に環境ポスターコンクールを行ってきた。エコパーク登録を契機にみなかみユネスコエコパークポスターとして募集を行う。	エコパーク登録を契機に「みなかみユネスコエコパークポスターと	事業実績		
施策	, n	EX.	13							夏休みの作品として学校を通じ応募を行う。夏休み 後、応募作品を取りまとめ、審査し・表彰を行いま	して、募集を行った。			
体系	其才	本事業	03	典かた	ጏ伏/	の政	発(1)ス	ゕゎ	(.	す。優秀作品は、町の文化祭や役場などに展示します。		- ポスター応募数		
	坐件	トチ末	03	豊かな自然の啓発(ひろめる力)					771/	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
根拠	無	組織	3織 エコノ	ペーク推進 課 エコパーク推済					係					
TICIX	711	小江中政		、 ク推進 課 エコハーク推進 除			EÆ	DK	・ 特にない。	児童生徒数は年々減少している ため、応募数を毎年増やいては		令和元年度	単位	
事業		継続事業	業	会 1	款	4	項 1	目	5	न्तर ्८० ०	いけないが、継続することが大事 である。	62	63	件
期間	н		~ 年間計	計 ' **				J			02	03	IT	